NO. 366
2017.7

CENTER NEWS

KG&ERC 協同組合 関西地盤環境研究センター
http://www.ks-dositu.or.jp

目　　次

理事長就任にあたって　寺西 一哲 …… 1
第 37 期通常総会開催報告…… 3
4・5 月　定例理事会 …… 4
中学生の職場体験学習を受け入れました……5
BCP 講習会を実施しました ……7
編集後記……8

表紙説明

松本城天守群は、大天守（だいてんしゅ）・乾小天守（いぬいこてんしゅ）・渡櫓（わたりやぐら）・辰巳附櫓（たつみつけやぐら）・月見櫓（つきみやぐら）の五棟で形成されています。

大天守と乾小天守を渡櫓によって連結し、辰巳附櫓と月見櫓が複合された連結複合式の天守です。

これらの天守群は、昭和 4 年（1929）に制定された「国宝保存法」により、昭和 11 年（1936）4 月 20 日国宝に指定されました。

『國寶略説』（昭和 11 年度 文部省宗教局）には「*・・・當天守ハ大小天守ヲ渡櫓ヲ以テ繋ゲルモノデ、所謂聯立式天守ノ稀有ナル例デアリ、名古屋城天守ノ先驅ヲナスモノデアル。・・・*」と記されています。

そして、戦後昭和 25 年（1950）に制定された「文化財保護法」により昭和 27 年 3 月 29 日再び天守五棟が国宝に指定されました。

引用：http://www.matsumoto-castle.jp/about/tower

（平松　記）

理事長就任にあたって

協同組合　関西地盤環境研究センター
寺西　一哲（さとし）

この度、第３７期通常総会（5月29日）において理事長を拝命いたしました株式会社ソイルシステムの寺西と申します。私は理事に就任して８年が過ぎ、微力ながらもセンター運営に携わってきました。皆様には会社も含めて、私のことを知らない方が多数おられると思いますが、この機会に多少なりとも知っていただければ幸いです。

近年業界を取り巻く環境や動向は非常に厳しくなっております。業界は公共工事関連の発注に大きく依存しているため、発注量が少ないと景気動向が下降するのが現状であります。建設コンサルタント業界は増収増益と減収減益がほぼ拮抗し、利益率低下も見られ、明暗が分かれた2016年度決算となっております。今年度から国土交通省が建設現場の生産性向上を目指して旗を振る「I-Construction」が、全国各地の調査・設計業務も席巻しそうだと予想されています。勝ち組を目指して、専門分野をまたいだ各社の業務提携が相次いでいます。３次元データを武器に受注を拡大しようと、航空測量会社などと連携する動きが加速していることも現実味を帯びています。また、他社と差別化するための技術として、３次元データによるＣＩＭの活用に熱い視線が注がれています。

また、近年は少子高齢化現象により若手技術者や技能者の人手不足が深刻化しています。それに伴い、技術の継承を担う後継者の育成も問題化しています。建設業界全体では技術者不足の原因はさまざまな理由が挙げられますが、共通点として業界全体に魅力が無く、待遇面も悪いことが原因であるとされています。拘束時間の長い現場技術者の環境改善を図ることで、女性を含めて若手技術者を増やす必要があります。

業界に若者を集めるには、業界全体で建設産業のイメージアップをもっとアピールする努力が必要であると痛切に感じています。どうすれば社会に発信出来るのか、何かアイデアはないものかと思っています。何か対策を講じなければ今後、私たちの予想を遙かに上回るスピードで担い手（後継者）が消滅してしまうのではないかと心配でなりません。組合員企業の皆様及びセンターにおいても同様な問題に直面されていることと思います。双方の継続と発展を目指すには、今後最重要に取り組む課題であることは間違いありません。組合員企業皆様方のお知恵を拝借出来れば幸いに存じます。

センター運営に関しましては売上げ目標２億６千万以上、利益４千万円以上を確保することを目標としています。この目標が達成出来れば利用分配当10％以上を配当できるのです。また、センターは収益事業でありながら、組合員企業様の教育・支援事業を担う役割や対外的及び業界全体に貢献する事業も忘れてはなりません。そのためには、委員会活動を活発に行い、組合員企業及び業界全体にアピールし盛り上げに邁進致します。

試験・分析結果の品質を確保し、さらなる向上も忘れてはなりません。組合員の皆様に対しては、迅速・丁寧な対応、ニーズに応じた適切なアドバイス、工期の厳守はもちろんであります。その結果、センターの存在価値が高まり、収益事業においてもおのずと結果がついてくるものと確信しています。センター内部の組織改革ならびに職員の意識改革を行い、更なる向上心を持って仕事をできる環境作りも行って参りたいと思っています。

大役であり、不慣れな部分も多々御座います。皆様方にはご迷惑をお掛けすることもございますが、中山専務理事をはじめ各理事とともにセンターのさらなる発展に寄与するべく、努力していく所存であります。そのためには組合員企業の皆様方にはさらなる御協力、御支援、御指導、御鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。乱文、乱筆ではございますがこれをもって理事長就任挨拶とさせて頂きます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

CIM の定義

CIM は 2012 年に国交省によって提言された建設業務の効率化を目的とした取り組みです。当初の定義は「Construction Information Modeling」であり、建築分野で進められていた BIM に倣ってスタートしました。BIM と同様に、3 次元モデルを中心に関係者間で情報共有することで一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るものとして取り組まれてきました。

2016 年 3 月までの間に行われた 70 件程度に及ぶ試行の過程で、モデルに情報を集約するだけでなく、建設ライフサイクル全体を見通したアセットマネジメントや、業務・工事単体でのプロジェクトマネジメントの必要性について話されることが多くなっています。

現在は「Construction Information Modeling/Management」と定義され、ライフサイクル全体を見通した情報マネジメントと、3 次元モデルを活用した情報の見える化が並行して実践されています。

引用：http://cimjapan.com/about/index.html

第 37 期通常総会開催報告

5 月 29 日、大阪キャッスルホテルに於いて、第 37 期通常総会を開催致しました。寺西副理事長が議長となり、すべての議案は滞りなく承認され、無事終了致しました。

総会にて役員改選が行われ、理事 10 名・監事 2 名が就任致しました。その後の理事会において、次の方々が以下の通り選任された事をご報告致します。

理事長	寺西　一哲	株式会社 ソイルシステム
副理事長	窪田　博之	株式会社 アテック吉村
副理事長	八谷　　誠	中央復建コンサルタンツ 株式会社
専務理事	中山　義久	協同組合 関西地盤環境研究センター
理事	髙村　勝年	株式会社 関西地質調査事務所
理事	藤井　　勉	株式会社 エイト日本技術開発
理事	桑原　隆之	明治コンサルタント 株式会社
理事	東原　　純	中央開発 株式会社
理事	荒木　繁幸（新任）	株式会社 ダイヤコンサルタント
理事	竹内　　功（新任）	株式会社 関西土木技術センター
監事	山本　善浩	双葉建設 株式会社
監事	竹末　圭一郎	株式会社 白浜試錐

文責：森　辰義

竹末　山本　桑原　藤井　髙村　東原
竹内　荒木　八谷　寺西　窪田　中山

4月 定例理事会

Regular board of directors

平成 29 年 4 月 25 日 (火)13 時 00 分より、関西文化サロン会議室において、理事 10 名が出席して開催した。

定款の定めにより、髙村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

[報告事項]

1 ）一般経過報告・事業報告の件

[審議事項]

1 ）平成 28 年度決算書・剰余金処分（案）承認の件
2 ）組合組織の件
3 ）新規約運用の件
4 ）理事候補選出の件
5 ）平成 29 年度役員報酬（案）承認の件
6 ）平成 29 年度（第 38 期）事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件
7 ）平成 29 年度借入金限度額（案）承認の件
8 ）第 37 期通常総会各種（案）承認の件
9 ）組合員新規加入申込みの件
10 ）職員松本退職金支払いの件

5月 定例理事会

平成 29 年 5 月 29 日 (月)13 時 00 分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事 10 名が出席して開催した。

定款の定めにより、髙村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

[報告事項]

1 ）一般経過報告・事業報告の件
2 ）第 37 期通常総会進行の件
3 ）役員改選の件
4 ）平成 29 年度ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・定例会開催予定の件
5 ）第 37 期通常総会後の手続き等予定の件

[審議事項]

1 ）組合組織の件
2 ）その他の件

中学生の職場体験学習を受け入れました

協同組合　関西地盤環境研究センター
平松　翔輔

5月31日・6月1日に地域社会貢献活動の一環として今年度も摂津市立第二中学校から職場体験学習を受け入れました。
職場体験学習のねらいは、次のとおりです。

① 働く喜びや苦労を知り、望ましい勤労観、職業観の形成を図る。
② 社会人・職業人の一員としての、マナーやルールなどの規律、礼儀、言葉遣いなどの社会性を身に付ける。
③ 現実的、具体的な知識・理解を得ることによって、職業の実際を知り、自己の適性についての理解の深化を図る。
④ 職業体験を校区及びその周辺域内の事業所で実施することによって、地域を知りそこで生活する一員としての自覚を育む。

センターとして生徒達を受け入れるにあたり、「実際の仕事を体験してもらうことにより、自分の知っていること以外に、様々な仕事があることを理解してもらう」ことを目的に、真剣に担当業務に取り組んでもらいました。

今回は3名の生徒達を受け入れ、2日間でセンター業務のほぼ全てを体験してもらいました。
初日は凄く緊張していましたが、2日目の一軸試験等では四苦八苦しながらお互いに楽しく　学習をすることが出来ました。

体験学習を受けた生徒達からの感想（原文のまま）
・楽しかった。・よくわからなかった。・色々なことを知れてよかった。　・もっと現場に行ったり外でやるのかと思ったけど試験に特化していて凄いと思った。　・試験をやってみたけど難しくすごいと感じた。

スケジュール

日	時　間	内　容
1日目	09：00～09：15	挨拶・自己紹介
	09：15～09：45	施設見学
	09：45～12：00	不攪乱試料の押出し及び観察体験
	13：00～15：00	材料試験
2日目	09：00～11：00	成形・一軸圧縮試験
	11：00～12：00	液状化試験
	13：00～15：00	物理体験
	15：00～15：10	終了のあいさつ

オリエンテーション

不攪乱試料の押出し及び観察体験

材料試験

供試体成形作業

一軸圧縮試験

液状化試験

物理体験

終了の講義・挨拶

BCP 講習会を実施しました

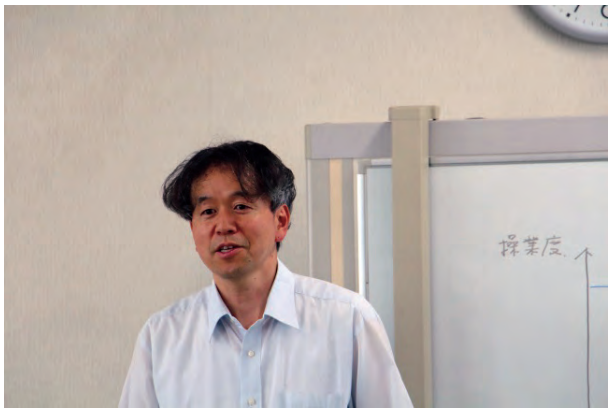
協同組合　関西地盤環境研究センター
橋本　篤

平成 29 年 6 月 8 日に「BCP 講習会」を実施しました。大阪府中央会の中小企業支援事業の一環として、専門家を派遣してもらう事業があります。今回は BCP の最終策定を目的とし、センター内での BCP に対する認識を高めるために実施しました。

講習会から、以下の基本的事項をきちんと整理して設定することが重要と学びました。

ⅰ）被害想定を決める
ⅱ）重要業務選定と目標復旧時間の設定
ⅲ）重要情報のバックアップ

今後は、平成 26 年度に作成した「組合事業継続計画」を基にセンター内や組合員のニーズを反映し、改訂することで、より実用的なものを策定していくことになりました。



大阪府中小企業団体中央会　今西 修氏

講師：東京海上日動　賀川寛之氏

講習会の様子　センター３階

編集後記

夏になりました。皆さん夏は好きですか？私は嫌いです。暑くて溶けそうです･･･。通勤だけでめげそうです。玄関出たらすでに「ムーリー！！」となる日々でございます。この暑い中で、京都では7月22日から24日まで祇園祭、大阪では7月25日に天神祭り、8月1日はPLの花火大会、8月5日はなにわ淀川花火大会が開催されますね。我が家からは小さいですが、淀川の花火大会の花火が見えるので今年もベランダから見たいと思います。

暑い日々が続く季節は、ビールがおいしいですが、アルコール類は水分にはなりませんよ！逆に脱水症状を招くので、アルコール類を飲んだ後はアルコール類と同じ量の水を摂取してくださいね。

皆様も熱中症や年配の方は脳梗塞にお気を付けください。

（稲田　記）

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】 （50 音順）

会　社　名	電話番号	会　社　名	電話番号
株式会社 アスコ大東	(06)6282-0310	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)6536-1591	株式会社 日建設計シビル	(06)6229-6372
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本物理探鑛 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788		

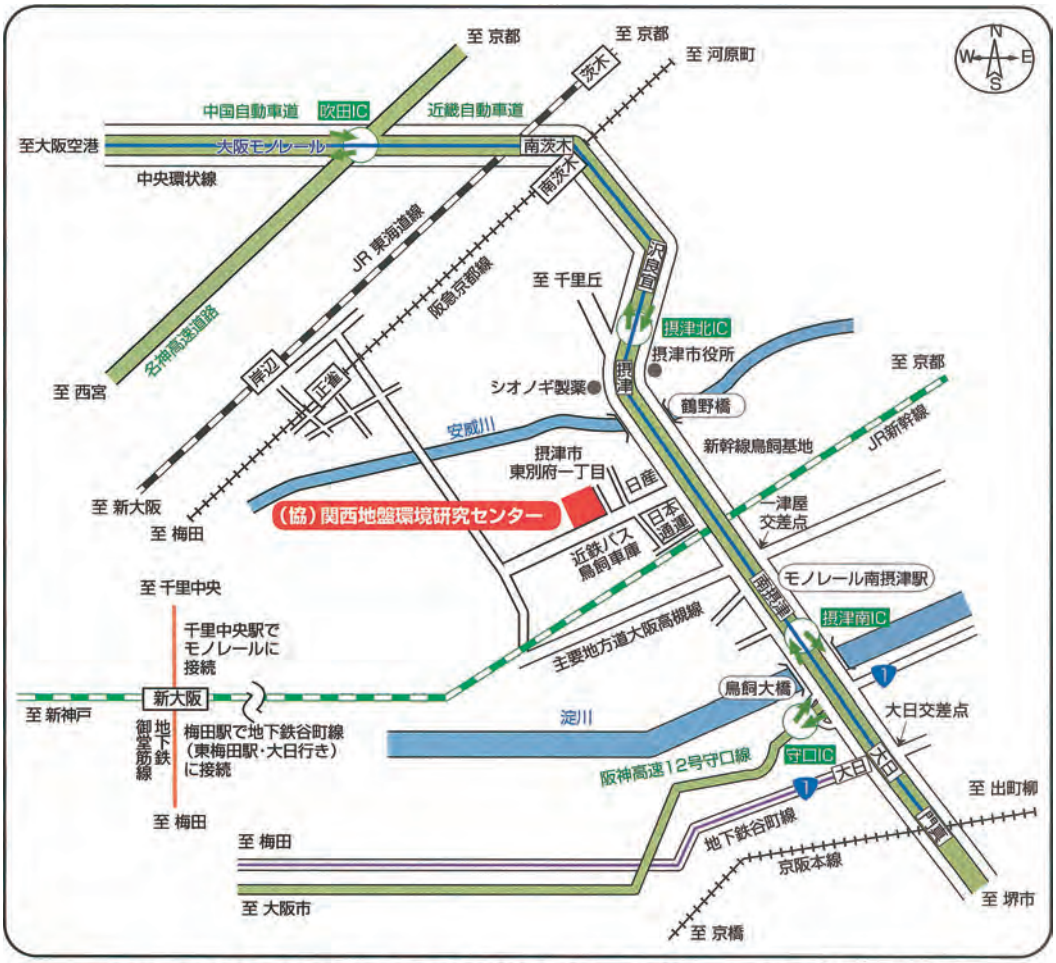
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 綜合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発　　行　協同組合　関西地盤環境研究センター
〒566-0042　摂津市東別府1丁目3番3号
TEL　06-6827-8833（代）
FAX　06-6829-2256
e-mail　tech@ks-dositu.or.jp

編　　集　広報関連委員会
編集責任者　中山義久
印　　刷　千里丘印刷

http://www.ks-dositu.or.jp



モノレール南摂津駅より徒歩約15分　JR岸辺駅よりタクシーで約10分　阪急正雀駅より徒歩で約25分

JAB Testing RTL02160
認定範囲
M25機械・物理試験
M25.21土質試験

ISO 9001
JTCCM
QSCA
RQ 0704
(登録範囲) http://www.jtccm.or.jp/

JAB CM015

協同組合 **関西地盤環境研究センター**

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3
TEL.06-6827-8833(代表)
FAX.06-6829-2256(地盤技術室)
http://www.ks-dositu.or.jp

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)　計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号
ISO9001認証取得　環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)